山弓連

平成8年 第2号

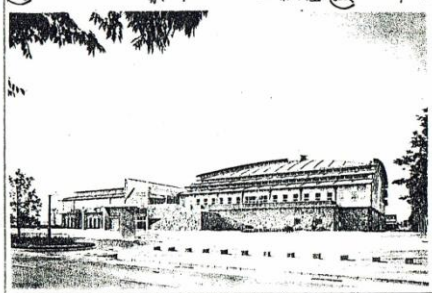
武道館竣工式

インターハイから使用開始……

六月十八日

待望久しい武道館が完成し、6月18日竣工式を行った。式のあと、巻藁射礼（射手：茶咬、介添：菊地敏秀、宮下真坤）と、古式による梁固め（射手：横谷三男、介添：久保田修一、蒔田松雄、岩郷誠）を厳粛に行って、使用開始OKとなった。但し、当面インターハイ関係（リハーサル・本番）のみで使用し、一般への開放は9月以降となる見込み。9月上旬に連盟主催の竣工記念大会開催について計画中。

弓道場は、写真建物の裏側にあり、近的12人立ち、遠的6人立ち、冷暖房付き、観覧席固定150席という立派なもので関東各地の施設と比較しても、些かも遜色はない。おおいに尊を高くしてヨロシイ。これから、この武道館を拠点にして、山弓のうが大きく発展、飛躍していくことを心から願ってやまない。（合、午前中は雨でヒヤリとさせられたが、ひる過ぎから、カラリと晴れ上った。皆連の前途をかさねがね祝福ばかり）。



昇段おめでとう

八段　渡辺良雄さん

今更紹介するまでもなく、山弓連会長4期8年（S54～61）その間において、かいど国体を成功させ、山弓連の今日の隆盛の礎を作った大功労者であることは誰でも知っている。しかも弓道に対しては、なお現役。日頃から「栄誉は望まない。ただ七段の射を維持しようと毎日、けんめいに稽古に励んでいる。」という言葉通りの努力と謙虚な人柄とが相まって今回の昇段につながった。弓を始めて70年近くになる。あと人が言った「金から離れに至る古淡な風格に歴史の重味を感じ、いつも感動する。」と、励まれは益々ご自愛の上いつまでも後輩の師表たらんことを。なお、先年ご寄贈いただいた、庭の遠手取大会、渡辺杯は毎年、選手たちの努力目標となっていることも、あらためてお礼を申し上げた。

明治41年生まれでございます。（いや、2月27日生まれで誕生日が4年に1回しかないから、まだ22才の若さを保っているという説もあり。）

八段　秋山照美さん

3月の京都審査で八段昇段を果たし、山弓の最高峰さんの1人となる。これまでも全日本遠手取大会での活躍、好成績などからみて、いずれ間近と噂されていたが、今回あっぱれに花開いた。ご実家一長浜（弓士七段）とともに射北院弓道場があまたの弟子を育て、また永年山弓連女子部長の職に有って女子弓道人の指導にも力を傾けてきたことはご存知の通り。今後ますますご精進下さるとともに、山弓弓道の発展のためにもいっそうのご尽力下さらんことを。

出自は、いわばサラブレット系。故久田範七のお嬢さん（ご兄弟のかんの仲間たちは呼ぶ）。但し、昭和4年生まれの57才。甲府市山宮町

錬士　古屋昭子さん

弓を始めて八年。その研究熱心、稽古熱心さが実って、トントン相手に昇段し、今回京都審査で錬士合格。師匠の渡辺八段とのダブルおめでたとなった。

弓のうまさもさることながら、そのまじめさ、実直さ、やさしさ、人徳の厚いことも師匠ゆずり。果書行事、女子部行事から、町の行事に至るまで、いつも頼を出して、みんなの世話をする。会の運営をスムーズにする為の縁の下の力もち的な仕事を数々となくこなしている。「弓は人格完成を目ざす。」を地でいっている感じ。益々のご精進を祈る。

（塩沼町、主婦兼、衣料店経営者、平6子詳）

各種大会県代表決定

6月2日、組が五弓道場で、各種大会に出場する山梨県代表を決定する為の、「ねんりんぴっく」を除く、三次選考会を開催した。一次、二次選考会を通過した各選手および補欠選手を選出した。

全国ねんりんぴっく

種別	選手氏名
男（個）	山下　達美
男（団）	内田　武春
男（団）	鈴木　茂雄
男（団）	坂崎　正樹
女（個）	坂崎　満子
女（団）	竹村　栄寿
女（団）	藤巻　昭子

関東選抜選手権大会

全日本選手権		種別	選手氏名
教士	男	有段	荒井　紀彦
			綿奈部　博史
			白須　吉人
			小俣　太一
		錬士	不動田　光照
			永井　秀太郎
	女	有段	棟　衣枝
	称号		中村　ミツエ
	男		大村　利正
			佐野　辰巳

- 全日本選手権大会　9月19～23日　伊勢市
- ねんりんぴっく～11月9～12日　宮崎市
- 関東選抜大会兼全関東選手選　7月28日　大宮市

インターハイ代表

原島校総体がインターハイ選手選を兼ねて6月9日～11日に石和清流館を用いて次の通り各代表が決定した。ここは地元有利の特典でいつもの2倍の出場わくがもらえた。

（団体男女各3校、個人男女各4名）

●団体

（男）北富士高　横山工高
（女）甲府南高　巨摩高校

●個人

（男）白須　也（北富）　井上直也（巨摩）
小俣　徹（正野原）　細田浩史（若田）
保坂恵克（巨摩）　楊戸　翔（塩）
名取純子（韮崎）　清水　礼（男）

ここしばらくインターハイ選手権選考会がなかったが、今年は総体が五月にあるということで、やっと本来の出来、特に男子個人決勝は8射詰めの本射（今本射は予選的）で決まるというすばらしい試合が見られるようになった。予選は一等生徒にならないと、なかなか出場できないから、本当に大変だが、今年もお互いに期待しよう。

インターハイの予定

6.22～23　リハーサル（県内選手による一次選考会）
7.13～14　リハーサル（県外招待選手）
7.27　選手役員打合せ会
8.3～5　公開練習日　6　審判合議
8.5～6　開会式、結会議
8.6～8　個人戦団体戦予選決勝

各種大会の成績

県を代表して出場した各大会の成績は次の通り。

全日本遠的選手権

4月24～26日　郡山

不動田・標・渡辺の3選手が出場したが、惜しくも入賞成らず。

全日本勤労者選手権

4月27～29日　大阪

松下電器甲府・東電山梨の労連2チームが出場。いずれも個人が数多く予選通過はするが、わずかに東電チーム中選手が皆中して喜ぶ吐いたのみ。残念。

関東高校大会

4月27～28日　東京

- 個人戦（8射）
  （男子）三位　依田　（横山）8中
  （女子）六位　清水　（甲南）7中　九位　小林（巨摩）7中
- 団体戦（予選外射・トーナメント12射）
  （男子）予選通過　横山工7中、トーナメント1回戦　横山工7中敗退
  （女子）予選通過　甲府南6中　巨摩高5中　トーナメント1回戦　甲府南6中　巨摩高5中敗退、射詰め2中敗退。

訃報

原稿を書き終えてやれやれと思っていたところへ、訃報が入りました。

宮田恵寿先生が七十七才で逝去。行年七十年余、時代は目まぐるしく変わっても、全国にいる多くの教え子たちの心の中に宮田先生は生き続けることでしょう。

編集後記

原稿を書き終えてやれやれと思っていたところへ、訃報が入りました。

宮田恵寿先生が七十七才で逝去。行年七十年余、時代は目まぐるしく変わっても、全国にいる多くの教え子たちの心の中に宮田先生は生き続けることでしょう。

- 武道館が出来ると、どこが場所はどこだ？」と聞かれました。ブセットも。
- 小額スポット会員の南の場所です。（会員西側の川沿いの道を南下すれば駐車場はすぐそこです。駐車場はもちろんフリーにいくらでもありますから大丈夫。どこへでもどうぞ。何せ甲府に「甲府城」をやった所ですから。）